

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号
特開2006-47509
(P2006-47509A)

(43) 公開日 平成18年2月16日(2006.2.16)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
G09G 3/30 (2006.01)	G09G 3/30 K	3K007
G09G 3/20 (2006.01)	G09G 3/20 612F	5C080
H01L 51/50 (2006.01)	G09G 3/20 641D	
	G09G 3/20 642J	
	H05B 33/14 A	

審査請求 有 請求項の数 4 O L (全 16 頁)

(21) 出願番号	特願2004-226105 (P2004-226105)	(71) 出願人	000000295
(22) 出願日	平成16年8月2日(2004.8.2)		沖電気工業株式会社
			東京都港区虎ノ門1丁目7番12号
		(71) 出願人	503357654
			株式会社沖ネットワークエルエスアイ
			東京都品川区西五反田二丁目15番7号
		(74) 代理人	100086807
			弁理士 柿本 恭成
		(72) 発明者	原 哲郎
			東京都品川区西五反田二丁目15番7号
			株式会社沖ネットワークエルエスアイ内
		(72) 発明者	木村 直哉
			東京都品川区西五反田二丁目15番7号
			株式会社沖ネットワークエルエスアイ内

最終頁に続く

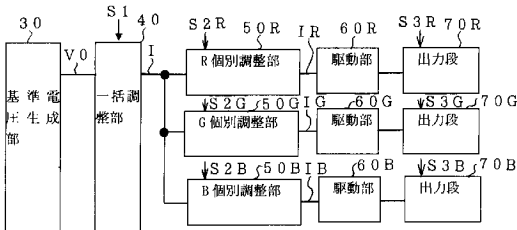
(54) 【発明の名称】 表示パネルの色合い調整回路

(57) 【要約】

【課題】回路規模を小さくしつつ、各R、B、G毎の微調整が可能で、所望の色画像表示が行える、有機ELパネル等の色合い調整回路を提供する。

【解決手段】基準電圧生成部30で生成された基準電圧V0が一括調整部40に与えられると、この一括調整部40により、基準電圧V0から基準電流を生成し、この基準電流を、ユーザ設定による輝度調整信号S1により一括輝度調整して一括調整電流Iを生成する。その後、各R、G、B個別調整部50R、50G、50Bにおいて、ユーザ設定による色調整信号S2R、S2G、S2Bにより各R、G、B毎に個別に微調整して個別調整電流IR、IG、IBを生成し、各R、G、B用EL素子13R、13G、13Bを所望の色合いで発光させる。

【選択図】 図1



実施例1の色合い調整回路

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

赤、緑及び青個別の表示素子からなる画素が複数個マトリックス状に配置されたパネル面を有する表示パネルに設けられる、表示パネルの色合い調整回路において、

基準電圧を生成する基準電圧生成部と、

ユーザ設定により与えられる一括輝度調整用の輝度調整信号に基づき、前記基準電圧を変化させてこの変化させた電圧を電流に変換して一括調整電流を生成する一括調整部と、

ユーザ設定により与えられる赤、緑、青個別の色調整信号に基づき、前記一括調整電流を赤、緑、青個別に変化させて微調整し、この微調整後の赤、緑、青個別の個別調整電流をそれぞれ生成する赤、緑、青個別の個別調整部と、

10

前記各個別調整電流をそれぞれ駆動して赤、緑、青個別の個別駆動電流を生成する駆動部と、

前記各個別駆動電流を出力して前記赤、緑及び青個別の表示素子をそれぞれ発光させる出力段と、

を備えたことを特徴とする表示パネルの色合い調整回路。

【請求項 2】

請求項 1 記載の表示パネルの色合い調整回路において、

前記一括調整部は、

前記基準電圧を分圧して複数の分圧電圧を生成する分圧回路と、

前記輝度調整信号に基づき、前記複数の分圧電圧から 1 つの分圧電圧を選択して出力する選択回路と、

20

第 1 の演算増幅器を用いて前記 1 つの分圧電圧を分圧電流に変換し、この分圧電流を抵抗及びトランジスタを用いて定電流化して前記一括調整電流を出力する電流変換・定電流回路とで構成し、

前記各個別調整部は、

前記各色調整信号に基づきオン／オフ動作して前記各個別調整電流を生成する並列接続された複数のトランジスタを有する 1 : N (但し、N は任意の正の整数) の比の第 1 のカレントミラー回路により構成し、

前記駆動部は、

前記第 1 のカレントミラー回路で生成された前記各個別調整電流を駆動する並列接続された複数のトランジスタを有する N : N の比の第 2 のカレントミラー回路と、

30

前記第 2 のカレントミラー回路で駆動された前記各個別調整電流を増幅して前記各個別駆動電流を生成する第 2 の演算増幅器とで構成し、

前記出力段は、

前記各個別駆動電流を出力する並列接続された複数のトランジスタを有する N : N の比の第 3 のカレントミラー回路で構成したことを特徴とする表示パネルの色合い調整回路。

【請求項 3】

請求項 1 記載の表示パネルの色合い調整回路において、

前記一括調整部は、

前記基準電圧を分圧して複数の分圧電圧を生成する分圧回路と、

40

前記輝度調整信号に基づき、前記複数の分圧電圧から 1 つの分圧電圧を選択して出力する選択回路と、

第 1 の演算増幅器を用いて前記 1 つの分圧電圧を分圧電流に変換し、この分圧電流を抵抗及びトランジスタを用いて定電流化して前記一括調整電流を生成する電流変換・定電流回路とで構成し、

前記各個別調整部は、

前記各色調整信号に基づきオン／オフ動作して前記各個別調整電流を生成する並列接続された複数のトランジスタを有し、該各トランジスタの幅及び長さは同一値にし、レイアウト上、該複数のトランジスタの中央を中心にしてミラー比が異なる該トランジスタを均等に配置してトランジスタ数だけで 1 : N (但し、N は任意の正の整数) の比の電流を作

50

り出す第 1 のカレントミラー回路により構成し、

前記駆動部は、

前記第 1 のカレントミラー回路で生成された前記各個別調整電流を駆動する並列接続された複数のトランジスタを有する N : N の比の第 2 のカレントミラー回路と、

前記第 2 のカレントミラー回路で駆動された前記各個別調整電流を増幅して前記各個別駆動電流を生成する第 2 の演算増幅器とで構成し、

前記出力段は、

前記各個別駆動電流を出力する並列接続された複数のトランジスタを有する N : N の比の第 3 のカレントミラー回路で構成したことを特徴とする表示パネルの色合い調整回路。

【請求項 4】

10

請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の表示パネルの色合い調整回路において、

前記表示素子は、

有機エレクトロルミネッセンス素子であることを特徴とする表示パネルの色合い調整回路。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、有機エレクトロルミネッセンス素子（以下、「有機 EL 素子」という。）を用いた有機 EL パネル等の薄型多色表示パネルにおける色合い調整回路に関するものである。

20

【背景技術】

【0002】

従来、薄型多色表示パネルにおける色合い調整回路に関する技術としては、例えば、次のような文献に記載されるものがあった。

【0003】

【特許文献 1】特開 2001 - 42823 号公報

【特許文献 2】特開 2001 - 134255 号公報

【特許文献 3】特開平 7 - 129100 号公報

【特許文献 4】特開平 8 - 286636 号公報

【0004】

30

特許文献 1 には、多色発光表示パネルであるパッシブマトリックス構造を有する有機 EL パネルの駆動装置の技術が記載されている。有機 EL パネルには、パッシブマトリックス構造のものとアクティブマトリックス構造のものとがある。パッシブマトリックス構造のものは、カラム電極（列電極、陽極線、或いはドライブ線とも言う。）とロウ電極（行電極、陰極線、或いは走査線とも言う。）との交差箇所に EL 素子が設けられ、カラム電極からロウ電極の方向に、発光閾値電圧を超える直流駆動電圧を EL 素子に印加すれば、当該駆動電圧に応じた電流に比例した発光輝度を呈し、印加される直流駆動電圧が発光閾値電圧以下であれば、駆動電流が流れず、発光輝度も零に等しいままである。

【0005】

この特許文献 1 における有機 EL パネルの駆動装置では、互いに交差する複数のカラム電極及び複数のロウ電極と、カラム電極及びロウ電極による複数の交差位置各々にてロウ電極及びカラム電極間に接続された極性を有し発光色の違いで複数種類（赤（R）、緑（G）、青（B））に分けられる複数の EL 素子とを備え、同一のカラム電極上には同種類の EL 素子が配置されている。そして、ロウ電極には、第 1 電位とこの第 1 電位よりも高い第 2 電位が選択的に接続され、カラム電極には、駆動電流を供給する電流源と EL 素子の発光閾値電圧以下のオフセット電圧を印加するための第 3 電位とが選択的に接続され、駆動電流及び第 3 電位を可変構造にしている。

40

【0006】

この駆動装置によれば、駆動電流及び第 3 電位を可変（R、G、B を個別に調整可能）としたことにより、発光色が互いに異なる R、G、B の EL 素子各々の両端電圧が走査期

50

間に各々の所望の電圧に達するまでに変化する電圧変化幅を互いに等しくすることができるので、発光色が互いに異なる R、G、B の E L 素子各々の発光の立ち上がり特性を改善することができる。

【 0 0 0 7 】

特許文献 2 には、バックライト型の液晶（以下、「LCD」という。）表示パネル等の平面表示パネルにおいて、利用者の好みや利用の実情（周囲の明るさ）等を反映した輝度（例えば、バックライトの輝度）の自動調整が行える技術が記載されている。この技術では、バックライト等の輝度調整可能な表示画面と、前記表示画面の近傍に設けられ、周囲の明るさを検知するセンサとを有し、前記センサからの検出信号に基づいて前記表示画面の輝度調整（一括調整）を自動的に行う平面表示パネルにおいて、前記表示画面の輝度を 10
利用者が設定する設定手段と、前記設定手段によって輝度が設定された際に、前記センサによる周囲の明るさの検出値と、前記設定手段によって設定された輝度値とに基づいて、前記表示画面の輝度特性を設定する輝度特性設定手段と、前記設定手段による設定後に、前記輝度特性設定手段によって設定された輝度特性と前記センサからの検出信号とに基づいて、前記表示画面の輝度を自動調整する輝度調整手段とを有している。

【 0 0 0 8 】

特許文献 3 には、輝度調整の容易なカラー発光ダイオード（以下、「LED」という。）集合ランプパネルの技術が記載されている。この技術では、R、G、B の 3 原色の LED を複数個を用いて 1 つの画素とし、該画素を複数個配列してカラー表示する集合ランプ 20
パネルモジュールにおいて、調光回路を各色 LED 制御回路に設け、各色独立に調光して明るさを調整する前記調光回路の周波数の制御手段を有している。

【 0 0 0 9 】

特許文献 4 には、ガス放電発光を利用して画像表示を行うプラズマ表示パネル（以下、「PDP」という。）における輝度調整装置の技術が記載されている。この技術では、1 フィールドの画像情報を輝度の大きさに応じた複数の画素データに分割してこの輝度の大きさに応じて前記画素データ各々における発光回数を設定して発光駆動を行うことにより階調表示を行う PDP の輝度調整装置において、調整すべき輝度レベルに対応した輝度調整信号を発生する輝度調整信号発生手段と、前記輝度調整信号の値が、互いに異なる範囲によって分けられる複数の領域の内のいずれの領域に該当するかを判定する領域判定手段と、前記領域判定手段にて判定された判定領域に対応した発光回数を設定する発光回数 30
設定手段と、前記判定領域に対応したゲイン特性にて前記画素データのゲイン調整を行うゲイン調整手段とを有している。これにより、輝度調整に応じて、放電発光回数の調整と、画素データのゲイン調整とを連動して行え、パネル全体の輝度を連続的に個別調整できる。

【 発明の開示 】

【 発明が解決しようとする課題 】

【 0 0 1 0 】

従来の有機 E L パネル等の薄型多色表示パネルにおける色合い調整回路では、例えば、R、G、B の 3 原色の発光素子を 3 個用いて 1 つの画素とし、各 R、G、B 発光素子に異なる駆動電流或いは駆動電圧を供給して所望の発光色を得るようにしている。多数の画素 40
がマトリックス状に配列された表示パネルにおいて、多数の R 発光素子群、G 発光素子群、及び B 発光素子群の色合い調整を行う方式には、R 発光素子群と G 発光素子群と B 発光素子群とを個別に調整する個別調整方式と、R 発光素子群、G 発光素子群、及び B 発光素子群を一括して調整する一括調整方式とがある。

【 0 0 1 1 】

個別調整方式では、各 R、B、G 発光素子群毎にそれに応じた駆動電流或いは駆動電圧で R、B、G の各発光色を個別に調整するので、所望の色画像表示が行える利点があるが、色調整回路数が増えて回路規模が大きくなるという欠点がある。これに対し、一括調整方式では、R、B、G 発光素子群を一括して共通の色調整回路により駆動電流或いは駆動電圧で発光色を調整するので、色調整回路数が少なく回路規模を小さくできるという利点 50

があるが、各 R、B、G 毎の調整を行っていないので、色画像表示特性が悪いという欠点がある。この色画像表示特性を向上させるためには、各 R、B、G 毎の個別の色微調整回路を設ければ良いが、色調整回路全体の回路規模が大きくなってしまう。

【0012】

そのため、回路規模を小さくしつつ、各 R、B、G 毎の微調整が可能で、所望の色画像表示が行える、有機 EL パネル等の薄型多色表示パネルにおける色合い調整回路が望まれていた。

【課題を解決するための手段】

【0013】

本発明は、R、G、B 個別の表示素子からなる画素が複数個マトリックス状に配置されたパネル面を有する表示パネルに設けられる、表示パネルの色合い調整回路において、基準電圧を生成する基準電圧生成部と、ユーザ設定により与えられる一括輝度調整用の輝度調整信号に基づき、前記基準電圧を変化させてこの変化させた電圧を電流に変換して一括調整電流を生成する一括調整部と、ユーザ設定により与えられる R、G、B 個別の色調整信号に基づき、前記一括調整電流を R、G、B 個別に変化させて微調整し、この微調整後の R、G、B 個別の個別調整電流をそれぞれ生成する R、G、B 個別の個別調整部と、前記各個別調整電流をそれぞれ駆動して R、G、B 個別の個別駆動電流を生成する駆動部と、前記各個別駆動電流を出力して前記 R、G、B 個別の表示素子をそれぞれ発光させる出力段とを備えている。

10

【発明の効果】

20

【0014】

本発明の内の請求項 1、4 に係る発明によれば、一括調整部により、基準電圧から基準電流を生成し、この基準電流を、ユーザ設定による輝度調整信号により一括輝度調整して一括調整電流を生成した後、各 R、G、B 個別調整部において、ユーザ設定による色調整信号により各 R、G、B 毎に個別に微調整して個別調整電流を生成し、各 R、G、B 用表示素子を所望の色合いで発光させるようにしたので、一括調整部と各 R、G、B 個別調整部とを回路上分離することで、色合い調整回路全体の回路規模を削減できる。これにより、更に、次の (a) ~ (c) のような効果もある。

【0015】

(a) 各 R、G、B 用表示素子の発光の色合いを決めるために、基準電流に対して輝度の一括調整及び各 R、G、B 毎の個別色微調整が同時に可能となる。

30

【0016】

(b) 色合いの一括調整部を R、G、B 個別に設けると回路規模が大きくなるが、本発明では、一括調整部は R、G、B 共通で、個別調整部のみを R、G、B 個別に設けているので、回路規模を削減できる。

【0017】

(c) R、G、B 毎の色合い調整は、パネル面の構造や表示素子の特性等によって決まるため、例えば、メーカーの製品出荷時に一度、個別設定すれば、その後は一括調整のみで運用可能となる。一括調整部を R、G、B 個別に設けると、運用時に、R、G、B の色合いは変えなくてもよいのに、一括調整を行うために R、G、B 全てを設定する必要があるが、本発明ではそのような不都合をなくすることができる。

40

【0018】

請求項 2 に係る発明によれば、請求項 1 に係る発明の効果に加えて、更に次のような効果もある。例えば、一括調整部を R、G、B 個別に設けると、基準電流生成のための外付け抵抗を 3 個設ける必要があり、その各外付け抵抗のばらつきにより電流誤差が生じる。しかし、本発明では、一括調整部を R、G、B 共通にしているので、例えば、外付け抵抗も 1 個で良く、抵抗のばらつきを考慮する必要がなくなり、輝度調整を簡易化できると共に精度を向上できる。

【0019】

請求項 3 に係る発明によれば、請求項 2 に係る発明と同様の効果があるが、第 1 のカレ

50

ントミラー回路を各同一サイズの複数のトランジスタで構成しているの、製造が容易になるという効果もある。

【発明を実施するための最良の形態】

【0020】

本発明を実施するための形態としては、例えば、R、G、B個別の有機EL素子等の表示素子からなる画素が複数個マトリックス状に配置されたパネル面を有する表示パネルに設けられる、表示パネルの色合い調整回路において、基準電圧生成部と、一括調整部と、R、G、B個別の個別調整部と、駆動部と、出力段とを備えている。

【0021】

前記一括調整部は、基準電圧を分圧して複数の分圧電圧を生成する分圧回路と、輝度調整信号に基づき、前記複数の分圧電圧から1つの分圧電圧を選択して出力する選択回路と、第1の演算増幅器（以下、「オペアンプ」という。）を用いて前記1つの分圧電圧を分圧電流に変換し、この分圧電流を抵抗及びトランジスタを用いて定電流化して一括調整電流を出力する電流変換・定電流回路とで構成している。前記各個別調整部は、各色調整信号に基づきオン/オフ動作して各個別調整電流を生成する並列接続された複数のトランジスタを有する1:N（但し、Nは任意の正の整数）の比の第1のカレントミラー回路により構成している。 10

【0022】

前記駆動部は、前記第1のカレントミラー回路で生成された前記各個別調整電流を駆動する並列接続された複数のトランジスタを有するN:Nの比の第2のカレントミラー回路と、前記第2のカレントミラー回路で駆動された前記各個別調整電流を増幅して各個別駆動電流を生成する第2のオペアンプとで構成している。前記出力段は、前記各個別駆動電流を出力する並列接続された複数のトランジスタを有するN:Nの比の第3のカレントミラー回路で構成している。 20

【実施例1】

【0023】

（構成）

図2は、本発明の実施例1を示す表示パネル（例えば、パッシブマトリックス構造を有する有機ELパネル）の概略の構成図である。

【0024】

この有機ELパネルは、画像表示用のパネル面10を有している。パネル面10内には、行方向に配置された複数のロウ電極11-1~11-n（但し、nは任意の正の整数）と、列方向に配置された複数のカラム電極12-1~12-m（但し、mは任意の正の整数）とが設けられ、これらの交差箇所にEL素子13がそれぞれ設けられ、n×m個マトリックス状に配置されている。各EL素子13は、R発光をするEL素子13R、G発光をするEL素子13G、及びB発光をするEL素子13Bにより1画素が形成され、多数の画素により表示画面が形成されている。 30

【0025】

ロウ電極11-1~11-nにロウドライバ21が接続されと共に、カラム電極12-1~12-mにカラムドライバ22が接続されている。ロウドライバ21は、例えば、各ロウ電極11-1~11-nをグラウンド電位GND側又は電源電位VCC側に切り替えるスイッチ素子を複数有し、これらのスイッチ素子により、複数のロウ電極11-1~11-nを電源電位VCC側からグラウンド電位GND側へ順に切り替え接続することにより、複数のロウ電極11-1~11-nを順に走査するようになっている。カラムドライバ22は、駆動電流供給用の複数の出力段トランジスタ等で構成され、走査されているロウ電極（例えば、グラウンド電位GND側に接続された11-1）に対して、発光対象となる画素のEL素子（例えば、13R, 13G, 13B）が接続されたカラム電極12-1, 12-2, 12-3に個別駆動電流を供給するための回路である。 40

【0026】

ロウドライバ21及びカラムドライバ22は、コントローラ23により制御される。コ 50

ントローラ 2 3 は、画像データやクロック信号等に基づき、ロウドライバ 2 1 内のスイッチ素子を切り替えるための制御信号を出力すると共に、カラムドライバ 2 2 内の出力段トランジスタ等に所定の電流を供給する機能等を有している。

【 0 0 2 7 】

図 3 は、図 2 の動作を示すタイムチャートである。

コントローラ 2 3 の制御により、ロウドライバ 2 1 によって複数のロウ電極 1 1 - 1 ~ 1 1 - n が順に走査されると、画像データに対応したレベルの個別駆動電流がカラムドライバ 2 2 から出力され、複数のカラム電極 1 2 - 1 ~ 1 2 - m に順に供給される。これにより、多数の E L 素子 1 3 が所定の色で発光し、画像データが所望の色で画像表示される。

10

図 1 は、図 2 の有機 E L パネルに搭載される実施例 1 の色合い調整回路を示す概略の構成図である。

【 0 0 2 8 】

この色合い調整回路は、直流の基準電圧 V_0 を生成する基準電圧生成部 3 0 を有し、この出力側に一括調整部 4 0 が接続されている。一括調整部 4 0 は、基準電圧 V_0 を入力し、ユーザ設定により与えられる一括輝度調整用の輝度調整信号 S_1 によりその基準電圧 V_0 を変化させた後に、電流に変換して安定した一括調整電流 I を生成する回路であり、この出力側に赤色用の R 個別調整部 5 0 R、緑色用の G 個別調整部 5 0 G、及び青色用の B 個別調整部 5 0 B が接続されている。

【 0 0 2 9 】

R 個別調整部 5 0 R は、一括調整電流 I を入力し、ユーザ設定により与えられる赤色微調整用の色調整信号 $S_2 R$ によりその一括調整電流 I を変化させて微調整済みの赤色用の個別調整電流 I_R を出力する回路であり、この出力側に赤色用の駆動部 6 0 R が接続されている。G 個別調整部 5 0 G は、一括調整電流 I を入力し、ユーザ設定により与えられる緑色微調整用の色調整信号 $S_2 G$ によりその一括調整電流 I を変化させて微調整済みの緑色用の個別調整電流 I_G を出力する回路であり、この出力側に緑色用の駆動部 6 0 G が接続されている。B 個別調整部 5 0 B は、一括調整電流 I を入力し、ユーザ設定により与えられる青色微調整用の色調整信号 $S_2 B$ によりその一括調整電流 I を変化させて微調整済みの青色用の個別調整電流 I_B を出力する回路であり、この出力側に青色用の駆動部 6 0 B が接続されている。

20

30

【 0 0 3 0 】

各駆動部 6 0 R, 6 0 G, 6 0 B は、入力された各個別調整電流 I_R, I_G, I_B を多数の負荷に供給するためにその各個別調整電流 I_R, I_G, I_B を駆動する回路であり、これらの出力側に赤色用の出力段 7 0 R、緑色用の出力段 7 0 G、及び青色用の出力段 7 0 B がそれぞれ接続されている。赤色用の出力段 7 0 R は、m 段の出力トランジスタ及び選択用のスイッチ素子等で構成され、制御信号 $S_3 R$ によりオン/オフ動作するスイッチ素子により出力トランジスタが選択され、この選択された出力トランジスタから出力される R 個別駆動電流を、図 2 中のカラム電極 1 2 - 1, ... へ供給する回路である。

【 0 0 3 1 】

同様に、緑色用の出力段 7 0 G は、m 段の出力トランジスタ及び選択用のスイッチ素子等で構成され、制御信号 $S_3 G$ によりオン/オフ動作するスイッチ素子により出力トランジスタが選択され、この選択された出力トランジスタから出力される G 個別駆動電流を、カラム電極 1 2 - 2, ... へ供給する回路である。青色用の出力段 7 0 B は、m 段の出力トランジスタ及び選択用のスイッチ素子等で構成され、制御信号 $S_3 B$ によりオン/オフ動作するスイッチ素子により出力トランジスタが選択され、この選択された出力トランジスタから出力される B 個別駆動電流を、カラム電極 1 2 - 3, ... へ供給する回路である。

40

【 0 0 3 2 】

図 1 の色合い調整回路は、例えば、基準電圧生成部 3 0、一括調整部 4 0、R、G、B 個別調整部 5 0 R, 5 0 G, 5 0 B、及び駆動部 6 0 R, 6 0 G, 6 0 B を図 2 中のコン

50

トローラ 2 3 内に設け、出力段 7 0 R , 7 0 G , 7 0 B をカラムドライバ 2 2 内に設けても良いし、或いは、駆動部 6 0 R , 6 0 G , 6 0 B もカラムドライバ 2 2 内に設けても良く、いずれにせよ、図 1 の各回路部を図 2 中のいずれの回路部内に設けるかは任意である。

【 0 0 3 3 】

(動作)

基準電圧生成部 3 0 から直流の基準電圧 V_0 が出力されて一括調整部 4 0 に供給されると、一括調整部 4 0 では、ユーザ設定による輝度調整信号 S_1 に基づき、基準電圧 V_0 を変化させ、この変化させた電圧を電流に変換し、安定した一括調整電流 I を生成して各 R、G、B 個別調整部 5 0 R , 5 0 G , 5 0 B に与える。各 R、G、B 個別調整部 5 0 R , 5 0 G , 5 0 B では、ユーザ設定による色調整信号 $S_2 R$, $S_2 G$, $S_2 B$ に基づき、一括調整電流 I を R、G、B 毎に微少変化させて微調整し、各 R、G、B 毎の個別調整電流 I_R , I_G , I_B を出力する。

10

【 0 0 3 4 】

各 R、G、B 毎の個別調整電流 I_R , I_G , I_B は、各 R、G、B 用駆動部 6 0 R , 6 0 G , 6 0 B により駆動された後、この駆動された各 R、G、B 毎の個別駆動電流が各 R、G、B 用出力段 7 0 R , 7 0 G , 7 0 B に供給される。各 R、G、B 用出力段 7 0 R , 7 0 G , 7 0 B では、コントローラ 2 3 等から与えられる各制御信号 $S_3 R$, $S_3 G$, $S_3 B$ により、内部に設けられたスイッチ素子がオン / オフ動作して各 m 段の出力トランジスタが所定のタイミングで選択され、選択された出力トランジスタから各 R、G、B 毎の個別駆動電流を出力する。これにより、各 R、G、B 毎の個別駆動電流が図 2 のパネル面 1 0 内のカラム電極 1 2 - 1 , . . . に供給され、各 R、G、B 用 EL 素子 1 3 R , 1 3 G , 1 3 B が所望の色合いで発光して画像表示される。

20

【 0 0 3 5 】

(効果)

本実施例 1 では、一括調整部 4 0 により、基準電圧 V_0 から基準電流を生成し、この基準電流を、ユーザ設定による輝度調整信号 S_1 により一括輝度調整して一括調整電流 I を生成した後、各 R、G、B 個別調整部 5 0 R , 5 0 G , 5 0 B において、ユーザ設定による色調整信号 $S_2 R$, $S_2 G$, $S_2 B$ により各 R、G、B 毎に個別に微調整して個別調整電流 I_R , I_G , I_B を生成し、各 R、G、B 用 EL 素子 1 3 R , 1 3 G , 1 3 B を所望の色合いで発光させるようにしたので、一括調整部 4 0 と各 R、G、B 個別調整部 5 0 R , 5 0 G , 5 0 B とを回路上分離することで、色合い調整回路全体の回路規模を削減できる。これにより、具体的には次の (a) ~ (c) のような効果がある。

30

【 0 0 3 6 】

(a) 各 R、G、B 用 EL 素子 1 3 R , 1 3 G , 1 3 B の発光の色合いを決めるために、基準電流に対して輝度の一括調整及び各 R、G、B 毎の個別色微調整が同時に可能となる。

【 0 0 3 7 】

(b) 色合いの一括調整部を R、G、B 個別に設けると回路規模が大きくなるが、本実施例 1 では、一括調整部 (4 0) は R、G、B 共通で、個別調整部 5 0 R , 5 0 G , 5 0 B のみを R、G、B 個別に設けているので、回路規模を削減できる。

40

【 0 0 3 8 】

(c) R、G、B 毎の色合い調整は、パネル面 1 0 の構造や EL 素子 1 3 R , 1 3 G , 1 3 B の特性等によって決まるため、例えば、メーカーの製品出荷時に一度、個別設定すれば、その後は一括調整のみで運用可能となる。一括調整部を R、G、B 個別に設けると、運用時に、R、G、B の色合いは変えなくてもよいのに、一括調整を行うために R、G、B 全てを設定する必要があるが、本実施例 1 ではそのような不都合をなくすることができる。

【 実施例 2 】

【 0 0 3 9 】

50

(構成)

図4は、本発明の実施例1における図1の色合い調整回路を具体化した本発明の実施例2を示す色合い調整回路の概略の構成図であり、図1中の要素と共通の要素には共通の符号が付されている。

【0040】

この実施例2の色合い調整回路では、図1の基準電圧生成部30が、基準電圧 V_0 を出力するバッテリー等の電源31により構成され、この出力側に図1の一括調整部40が接続されている。図1の一括調整部40は、基準電圧 V_0 を抵抗分圧して複数の基準電圧を生成する分圧回路41と、輝度調整信号 S_1 に基づいてその複数の基準電圧から所望の1つの基準電圧 V_1 を選択する選択回路42と、基準電圧 V_1 を電流に変換した後に定電流の一括調整電流 I を出力する電流変換・定電流回路とで構成されている。

【0041】

分圧回路41は、基準電圧 V_0 を分圧する i 個(但し、 i は2以上の正の整数)の分圧抵抗 $41-1 \sim 41-i$ を有し、これらが電源31とグランドとの間に直列に接続され、各分圧抵抗 $41-1 \sim 41-i$ から i 個の基準電圧を出力する回路であり、この出力側に選択回路42が接続されている。選択回路42は、輝度調整信号 S_1 に基づいて i 個の基準電圧から1つの基準電圧 V_1 を選択する回路であり、輝度調整信号 S_1 によりオン/オフ動作する i 個のセレクタ $42-1 \sim 42-i$ により構成され、この出力側に電流変換・定電流回路が接続されている。

【0042】

電流変換・定電流回路は、基準電圧 V_1 を電流に変換する第1のオペアンプ43と、定電流用の抵抗44及びサイズ1のPチャネル型MOSトランジスタ(以下、「PMOS」という。)45とで構成されている。オペアンプ43は、選択回路42の出力側に接続された負入力端子と、抵抗44の一端に接続された正入力端子とを有し、その抵抗44の他端がグランドに接続されている。オペアンプ43の出力端子は、PMOS45のゲートに接続され、このPMOS45のソースが電源電位 V_{CC} のノードに接続され、該PMOS45のドレインが抵抗44の一端に接続されている。PMOS45のゲートは、同一構成の各R、G、B調整ブロック80R、80G、80Bの入力側に接続されている。

【0043】

R調整ブロック80Rは、図1のR個別調整部50R及び駆動部60Rにより構成されている。同様に、G調整ブロック80Gは、図1のG個別調整部50G及び駆動部60Gにより構成され、B調整ブロック80Bは、図1のB個別調整部50B及び駆動部60Bにより構成されている。各R、G、B調整ブロック80R、80G、80Bの出力側には、図1の各 m 段の出力段70R、70G、70Bがそれぞれ接続されている。

【0044】

図1の m 段の出力段70Rにおいて、1段目は、ゲートが共通に接続された $N:N$ の比のPMOS $71-1R \sim 71-jR$ (但し、 j は任意の正の整数)からなるカレントミラー回路で構成され、この1段目のPMOS $71-1R$ のゲートに、同様の複数のPMOSのゲートが共通に接続されたカレントミラー回路が、 $(m-1)$ 段並列に接続されている。各段のカレントミラー回路を構成するPMOS $71-1R \sim 71-jR, \dots$ は、ゲートが共通に接続され、ソースが電源電位 V_{CC} のノードに接続され、ドレインが図2のカラム電極 $12-1 \sim 12-j, \dots$ に接続されている。各カラム電極 $12-1 \sim 12-j, \dots$ は、RのEL素子 $13R, \dots$ を介してロウ電極 $11-1, \dots$ に接続されている。更に、1段目の各PMOS $71-1R \sim 71-jR$ のドレインは、制御信号 S_{3R} によりオン/オフ動作するスイッチ素子 $72-1R \sim 72-jR$ を介して、それぞれグランドに接続されている。EL素子 $13R, \dots$ を発光させる時には、制御信号 S_{3R} によりスイッチ素子 $72-1R \sim 72-jR$ をオフ状態にして、PMOS $71-1R \sim 71-jR, \dots$ のドレインをグランドから切り離し、これらのPMOS $71-1R \sim 71-jR, \dots$ のドレインから出力される個別駆動電流を、カラム電極 $12-1 \sim 12-j, \dots$ 側へ供給する。

【 0 0 4 5 】

同様に、図 1 の m 段の出力段 7 0 G において、1 段目は、ゲートが共通に接続された $N : N$ の比の P M O S 7 1 - 1 G ~ 7 1 - j G からなるカレントミラー回路で構成され、この 1 段目の P M O S 7 1 - 1 G のゲートに、同様の複数の P M O S のゲートが共通に接続されたカレントミラー回路が、(m - 1) 段並列に接続されている。各段のカレントミラー回路を構成する P M O S 7 1 - 1 G ~ 7 1 - j G , . . . は、ゲートが共通に接続され、ソースが電源電位 V C C のノードに接続され、ドレインが図 2 のカラム電極 1 2 - 2 ~ 1 2 - (j + 1) , . . . に接続されている。各カラム電極 1 2 - 2 ~ 1 2 - (j + 1) , . . . は、G の E L 素子 1 3 G , . . . を介してロウ電極 1 1 - 1 , . . . に接続されている。更に、1 段目の各 P M O S 7 1 - 1 G ~ 7 1 - j G のドレインは、制御信号 S 3 G によりオン / オフ動作するスイッチ素子 7 2 - 1 G ~ 7 2 - j G を介して、それぞれグランドに接続されている。E L 素子 1 3 G , . . . を発光させる時には、制御信号 S 3 G によりスイッチ素子 7 2 - 1 G ~ 7 2 - j G をオフ状態にして、P M O S 7 1 - 1 G ~ 7 1 - j G , . . . のドレインをグランドから切り離し、これらの P M O S 7 1 - 1 G ~ 7 1 - j G , . . . のドレインから出力される個別駆動電流を、カラム電極 1 2 - 2 ~ 1 2 - (j + 1) , . . . 側へ供給する。

【 0 0 4 6 】

図 1 の m 段の出力段 7 0 B において、1 段目は、ゲートが共通に接続された $N : N$ の比の P M O S 7 1 - 1 B ~ 7 1 - j B からなるカレントミラー回路で構成され、この 1 段目の P M O S 7 1 - 1 B のゲートに、同様の複数の P M O S のゲートが共通に接続されたカレントミラー回路が、(m - 1) 段並列に接続されている。各段のカレントミラー回路を構成する P M O S 7 1 - 1 B ~ 7 1 - j B , . . . は、ゲートが共通に接続され、ソースが電源電位 V C C のノードに接続され、ドレインが図 2 のカラム電極 1 2 - 3 ~ 1 2 - (j + 2) , . . . に接続されている。各カラム電極 1 2 - 3 ~ 1 2 - (j + 2) , . . . は、B の E L 素子 1 3 B , . . . を介してロウ電極 1 1 - 1 , . . . に接続されている。更に、1 段目の各 P M O S 7 1 - 1 B ~ 7 1 - j B のドレインは、制御信号 S 3 B によりオン / オフ動作するスイッチ素子 7 2 - 1 B ~ 7 2 - j B を介して、それぞれグランドに接続されている。E L 素子 1 3 B , . . . を発光させる時には、制御信号 S 3 B によりスイッチ素子 7 2 - 1 B ~ 7 2 - j B をオフ状態にして、P M O S 7 1 - 1 B ~ 7 1 - j B , . . . のドレインをグランドから切り離し、これらの P M O S 7 1 - 1 B ~ 7 1 - j B , . . . のドレインから出力される個別駆動電流を、カラム電極 1 2 - 3 ~ 1 2 - (j + 2) , . . . 側へ供給する。

【 0 0 4 7 】

図 5 は、図 4 中の R 調整ブロック 8 0 R を示す概略の構成図である。

R 調整ブロック 8 0 R は、図 4 中の他の G、B 調整ブロック 8 0 G , 8 0 B と同一の構成であり、図 1 中の R 個別調整部 5 0 R と駆動部 6 0 R とで構成されている。

【 0 0 4 8 】

R 個別調整部 5 0 R は、1 : N の比の k 個 (例えば、5 個) の P M O S 5 1 - 1 ~ 5 1 - 5 からなる第 1 のカレントミラー回路 5 1 と、色調整信号 S 2 R によりオン / オフ動作してその P M O S 5 1 - 1 ~ 5 1 - 5 のいずれか 1 つを選択するための k 個 (例えば、5 個) のスイッチ素子 5 2 - 1 ~ 5 2 - 5 からなるスイッチ回路 5 2 とで構成されている。カレントミラー回路 5 1 を構成する P M O S 5 1 - 1 ~ 5 1 - 5 は、トランジスタサイズが例えば 3 2、1 6、8、4、2 であり、これらのゲートが共通に接続され、ドレインも共通に接続されている。各 P M O S 5 1 - 1 ~ 5 1 - 5 のソースは、スイッチ素子 5 2 - 1 ~ 5 2 - 5 を介して電源電位 V C C のノードに接続されている。色調整信号 S 2 R によりいずれか 1 つのスイッチ素子 (例えば、5 2 - 2) がオン状態になると、このスイッチ素子 5 2 - 2 に接続された P M O S 5 1 - 2 のソース・ドレイン間に、このトランジスタサイズ 1 6 に応じた個別調整電流 I R が流れる。

【 0 0 4 9 】

図 1 中の駆動部 6 0 R は、R 個別調整部 5 0 R から出力される個別調整電流 I R を入力

する $N:N$ の比の p 個（例えば、2 個）の N チャンネル型 MOS トランジスタ（以下、「 N MOS 」という。）61-1, 61-2 からなる第2のカレントミラー回路61と、 N MOS 61-2 の出力を駆動する第2のオペアンプ62及び P MOS 63 とで構成されている。カレントミラー回路61を構成する N MOS 61-1, 61-2 のゲートは共通に接続され、この N MOS 61-1 のドレインが、自己のゲートと P MOS 51-1 ~ 51-5 のドレインに接続され、該 N MOS 61-1, 61-2 のソースが、グランドに接続されている。 N MOS 61-1 のドレイン・ソース間に流れる個別調整電流 I_R と同一比の電流が、 N MOS 61-2 のドレイン・ソース間に流れる。

【0050】

N MOS 61-2 のドレイン及びゲートは、オペアンプ62の正入力端子及び負入力端子にそれぞれ接続されている。オペアンプ62の出力端子は、 P MOS 63 のゲートに接続され、この P MOS 63 のソースが電源電位 V_{CC} のノードに接続され、該 P MOS 63 のドレインが N MOS 61-2 のドレインに接続されている。オペアンプ62及び P MOS 63 により、 N MOS 61-2 のドレイン・ソースに流れる電流が駆動され、該オペアンプ62の出力端子から、安定化された個別駆動電流が出力される。

10

【0051】

（動作）

電源31から出力された直流の基準電圧 V_0 は、分圧回路41で複数の電圧に分圧され、この分圧電圧の1つが、ユーザ設定による輝度調整信号 S_1 によりオン状態になる選択回路40内のセクタ（例えば、42-2）で選択され、基準電圧 V_1 が出力される。この基準電圧 V_1 は、オペアンプ43により電流に変換され、 P MOS 45により定電流化されて該オペアンプ43の出力端子から一定の一括調整電流 I が出力される。

20

【0052】

一括調整電流 I は、ユーザ設定による色調整信号 S_{2R} , S_{2G} , S_{2B} に基づき、各 R 、 G 、 B 調整ブロック80R, 80G, 80Bにおいて R 、 G 、 B 個別に微調整され、 R 、 G 、 B 毎の個別駆動電流が生成される。

【0053】

例えば、 R 調整ブロック80Rにおいて、入力された一括調整電流 I は、色調整信号 S_{2R} によりオン状態になるスイッチ素子（例えば、51-3）を介して P MOS 51-3により、カレントミラー比1:8に比例した個別調整電流 I_R が生成される。生成された個別調整電流 I_R は、 N MOS 61-1 のドレイン・ソース間を流れ、これと同一の電流が N MOS 61-2 のドレイン・ソース間にも流れ、オペアンプ62及び P MOS 63 により定電流化されて個別駆動電流が生成される。

30

【0054】

各 R 、 G 、 B 調整ブロック80R, 80G, 80Bで生成された R 、 G 、 B 毎の個別駆動電流は、制御信号 S_{3R} , S_{3G} , S_{3B} により制御される出力段70R, 70G, 70Bから、選択されたカラム電極11-1, ...へ出力され、 EL 素子13R, 13G, 13Bが所望の色合いで発光する。

【0055】

（効果）

本実施例2では、実施例1とほぼ同様に、輝度一括調整用の選択回路42と色個別調整用の各 R 、 G 、 B 調整ブロック80R, 80G, 80Bとを回路上分離することで、色合い調整回路全体の回路規模を削減できる。これにより、実施例1の効果に加えて、次の（d）のような効果もある。

40

【0056】

（d）一括調整部を R 、 G 、 B 個別に設けると、基準電流生成のための外付け抵抗を3個設ける必要があり、その各外付け抵抗のばらつきにより電流誤差が生じるが、本実施例2では、一括調整部40を R 、 G 、 B 共通にしているので、外付け抵抗44も1個で良く、抵抗のばらつきを考慮する必要がなくなり、輝度調整を簡易化できると共に精度を向上できる。

50

【実施例 3】

【0057】

(構成)

図 6 は、本発明の実施例 1 における図 1 の色合い調整回路を具体化した本発明の実施例 3 を示す色合い調整回路の概略の構成図であり、実施例 1 を示す図 1 及び実施例 2 を示す図 4、図 5 中の要素と共通の要素には共通の符号が付されている。

【0058】

図 6 に示す色合い調整回路は、図 4 に示す色合い調整回路中の PMOS 45 を、他の特性の PMOS 145 に置き換え、図 4 中の各 R、G、B ブロック 80R、80G、80B を、他の構成の各 R、G、B ブロック 180R、180G、180B に置き換えている点のみが実施例 2 と異なる。図 6 中の PMOS 145 のトランジスタサイズは、幅 $W = a$ 、長さ $L = b$ 、個数 $m = 1$ である。 a 、 b は、任意のサイズである。その他の構成は、実施例 2 と同様である。

10

【0059】

図 7 は、図 6 中の R 調整ブロック 180R を示す概略の構成図である。

R 調整ブロック 180R は、図 6 中の他の G、B 調整ブロック 180G、180B と同一の構成であり、図 5 中の第 1 のカレントミラー回路 51 及びスイッチ回路 52 と異なる構成の第 1 のカレントミラー回路 151 及びスイッチ回路 152 と、図 5 中のものと同じ第 2 のカレントミラー回路 61、第 2 のオペアンプ 62 及び PMOS 63 とで構成されている。他の構成は、実施例 2 と同様である。

20

【0060】

図 7 中のカレントミラー回路 151 は、 $1 : N$ の比の q 個（例えば、7 個）の PMOS 151-1 ~ 151-7 により構成されている。各 PMOS 151-1 ~ 151-7 のトランジスタサイズは同一であり（幅 $W = a$ 、長さ $L = b$ 、個数 $m = 1$ ）、これらのゲートが共通に接続され、ドレインも共通に接続されている。7 個の PMOS 151-1 ~ 151-7 は、レイアウト（配置）上、これらの PMOS 151-1 ~ 151-7 の中央を中心にしてミラー比が異なる該 PMOS を均等に配置してトランジスタ数 m だけで $1 : N$ のカレントミラー比の電流を作り出す構成になっている。

【0061】

図 7 中のスイッチ回路 152 は、電源電位 VCC のノードとカレントミラー回路 151 内の PMOS 151-1 ~ 151-7 のソースとの間に接続され、色調整信号 S2R によりオン/オフ動作して PMOS 151-1 ~ 151-7 を選択するための q 個（例えば、7 個）のスイッチ素子 152-1a、152-2a、152-3a、152-1b、152-2-3b、152-1c、152-2b により構成されている。スイッチ素子 152-1a、152-1b、152-1c と、スイッチ素子 152-2a、152-2b と、スイッチ素子 152-3a、152-3b とは、色調整信号 S2R によりそれぞれ同時にオン/オフ動作する。スイッチ素子 152-1a、152-1b、152-1c は、PMOS 151-1、151-4、151-6 のソースにそれぞれ接続され、スイッチ素子 152-2a、152-2b は、PMOS 151-2、151-7 のソースにそれぞれ接続され、スイッチ素子 152-3a、152-3b は、PMOS 152-3、152-5 のソースにそれぞれ接続されている。

30

40

【0062】

例えば、色調整信号 S2R により、スイッチ素子 152-1a、152-1b、152-1c が同時にオン状態になると、これらに接続された PMOS 151-1、151-4、151-6 のソース・ドレイン間に電源電流が流れ、これらの共通ドレイン側ノードに、トランジスタ数に応じた個別調整電流 IR が流れる。

【0063】

(動作・効果)

本実施例 3 の動作は、図 7 中のカレントミラー回路 151 及びスイッチ回路 152 の動作が実施例 2 と異なるだけで、基本的な動作は実施例 2 と同様である。

50

【 0 0 6 4 】

本実施例 3 は、実施例 2 と同様の効果があるが、図 7 中のカレントミラー回路 1 5 1 を各同一サイズの P M O S 1 5 1 - 1 ~ 1 5 1 - 7 で構成しているので、製造が容易になるという効果もある。

【 実施例 4 】

【 0 0 6 5 】

本発明は、上記実施例 1 ~ 3 に限定されず、種々の変形が可能である。この変形例である実施例 4 としては、例えば、次のようなものがある。

【 0 0 6 6 】

図 1 中の各部 3 0 , 4 0 , 5 0 R , 5 0 G , 5 0 B , 6 0 R , 6 0 R , 6 0 G , 6 0 B , 7 0 R , 7 0 G , 7 0 B の具体例を示す図 4 ~ 図 7 の回路構成は、図示以外の他の回路で構成しても良い。例えば、P M O S を N M O S で構成したり、N M O S を P M O S で構成したり、或いはこれらの M O S トランジスタをバイポーラトランジスタ等の他のトランジスタで構成しても良い。

【 産業上の利用可能性 】

【 0 0 6 7 】

本発明は、有機 E L パネルに限定されず、他の平面表示パネル等における色合い調整回路にも利用が可能である。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 6 8 】

【 図 1 】 本発明の実施例 1 を示す色合い調整回路の構成図である。

【 図 2 】 本発明の実施例 1 を示す有機 E L パネルの構成図である。

【 図 3 】 図 2 の動作を示すタイムチャートである。

【 図 4 】 本発明の実施例 2 を示す色合い調整回路の構成図である。

【 図 5 】 図 4 中の R 調整ブロックを示す構成図である。

【 図 6 】 本発明の実施例 3 を示す色合い調整回路の構成図である。

【 図 7 】 図 6 中の R 調整ブロックを示す構成図である。

【 符号の説明 】

【 0 0 6 9 】

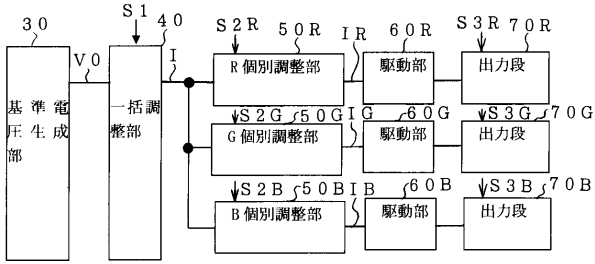
1 0	パネル面
1 1 - 1 ~ 1 1 - n	ロウ電極
1 2 - 1 ~ 1 2 - m	カラム電極
1 3 R , 1 3 G , 1 3 B	E L 素子
3 0	基準電圧生成部
4 0	一括調整部
5 0 R , 5 0 G , 5 0 B	個別調整部
6 0 R , 6 0 G , 6 0 B	駆動部
7 0 R , 7 0 G , 7 0 B	出力段

10

20

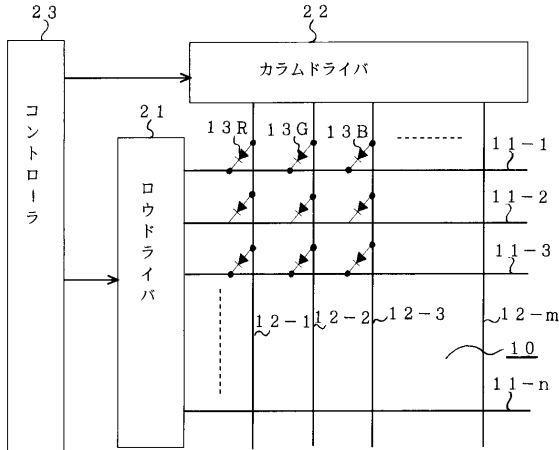
30

【図 1】



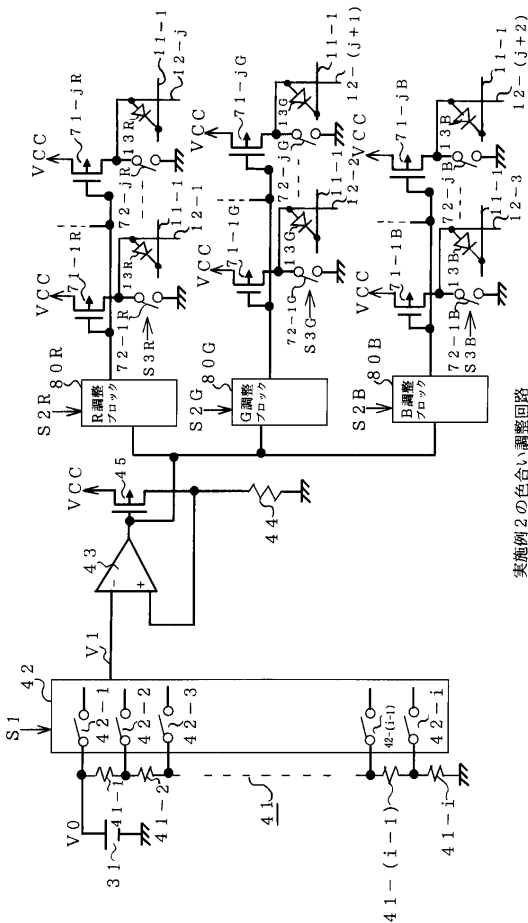
実施例1の色合い調整回路

【図 2】



有機ELパネル

【図 4】



実施例2の色合い調整回路

【図 3】

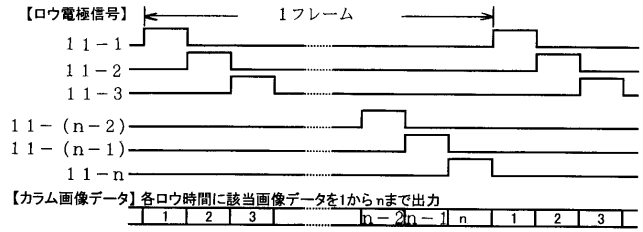


図2のタイムチャート

【図 5】

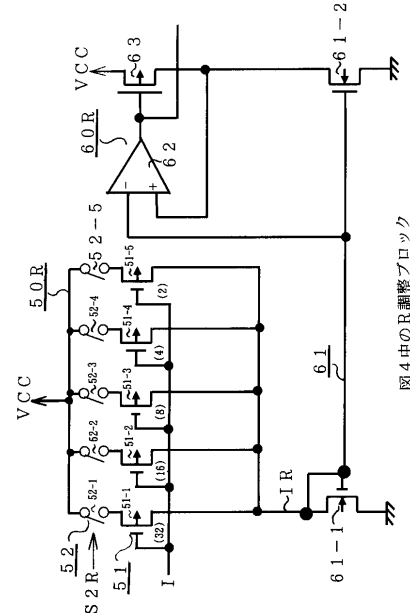
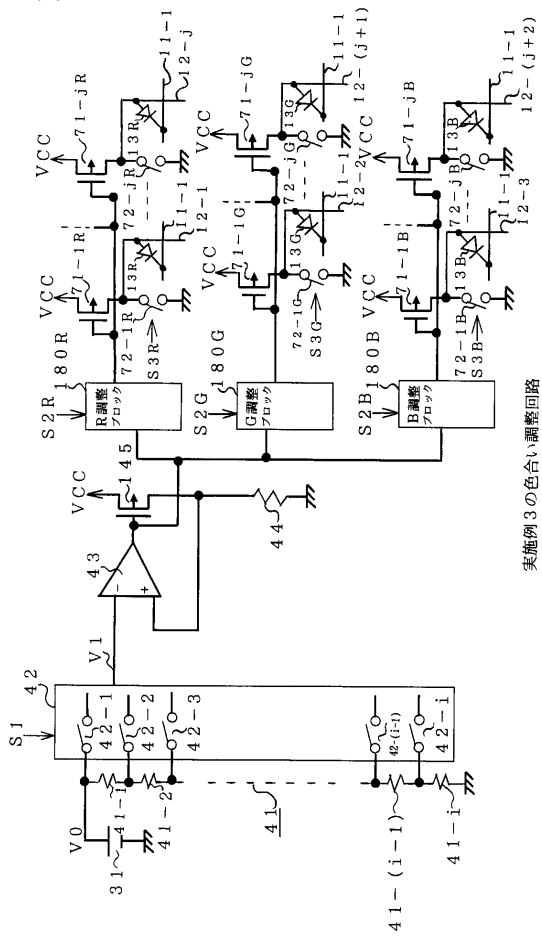


図4中のR調整ブロック

【図 6】



実施例3の色合い調整回路

【図 7】

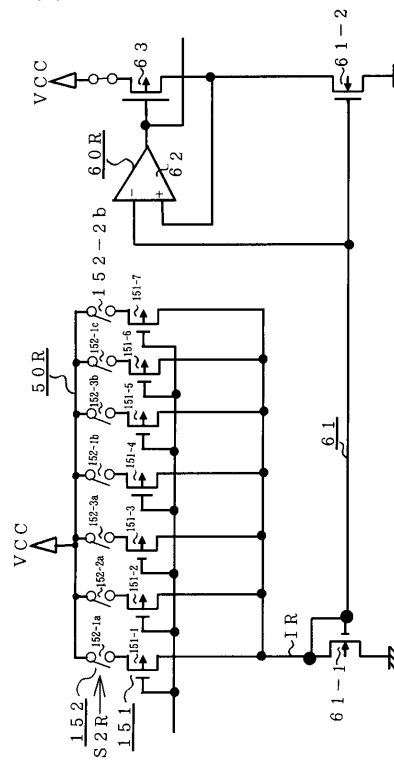


図6中のR調整ブロック

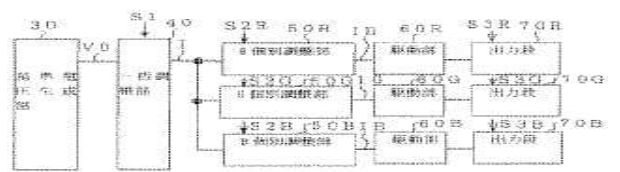
フロントページの続き

- (72)発明者 清水 隆之
東京都品川区西五反田二丁目 1 5 番 7 号 株式会社沖ネットワークエルエスアイ内
- (72)発明者 紺藤 晃
東京都品川区西五反田二丁目 1 5 番 7 号 株式会社沖ネットワークエルエスアイ内
- (72)発明者 高 柳 治代
東京都品川区西五反田二丁目 1 5 番 7 号 株式会社沖ネットワークエルエスアイ内
- (72)発明者 佐藤 眞一
東京都港区虎ノ門 1 丁目 7 番 1 2 号 沖電気工業株式会社内
- F ターム(参考) 3K007 AB04 AB17 AB18 BA06 DB03 GA00
5C080 AA06 BB05 CC03 DD01 EE29 EE30 FF01 FF11 FF12 JJ02
JJ03 JJ04

专利名称(译)	显示面板的颜色调整电路		
公开(公告)号	JP2006047509A	公开(公告)日	2006-02-16
申请号	JP2004226105	申请日	2004-08-02
[标]申请(专利权)人(译)	冲电气网络LSI合作		
申请(专利权)人(译)	冲电气工业株式会社 冲电气网络LSI合作		
[标]发明人	原哲郎 木村直哉 清水隆之 紺藤晃 高柳治代 佐藤真一		
发明人	原 哲郎 木村 直哉 清水 隆之 紺藤 晃 ▲高▼柳 治代 佐藤 真一		
IPC分类号	G09G3/30 G09G3/20 H01L51/50		
CPC分类号	G09G3/3216 G09G3/3283 G09G2300/06 G09G2320/0606 G09G2320/0626 G09G2320/0666 E03F5/06 E04G15/02 E04G17/06		
FI分类号	G09G3/30.K G09G3/20.612.F G09G3/20.641.D G09G3/20.642.J H05B33/14.A G09G3/20.611.F G09G3/20.611.H G09G3/20.642.L G09G3/3216 G09G3/3266 G09G3/3275 G09G3/3283		
F-TERM分类号	3K007/AB04 3K007/AB17 3K007/AB18 3K007/BA06 3K007/DB03 3K007/GA00 5C080/AA06 5C080/BB05 5C080/CC03 5C080/DD01 5C080/EE29 5C080/EE30 5C080/FF01 5C080/FF11 5C080/FF12 5C080/JJ02 5C080/JJ03 5C080/JJ04 3K107/AA01 3K107/BB01 3K107/CC02 3K107/CC08 3K107/CC21 3K107/CC33 3K107/CC43 3K107/CC45 3K107/EE02 3K107/EE03 3K107/HH04 3K107/HH05 5C380/AA01 5C380/AB05 5C380/AB34 5C380/BA11 5C380/BA13 5C380/BB12 5C380/BB15 5C380/CA08 5C380/CA13 5C380/CB01 5C380/CE04 5C380/CE07 5C380/CE08 5C380/CF26 5C380/CF27 5C380/CF41 5C380/DA02 5C380/DA06		
其他公开文献	JP4081462B2		
外部链接	Espacenet		

摘要(译)

要解决的问题：为有机EL面板等提供色调调节电路，利用该色调可以对每个R，B和G进行微调，并且可以在减小电路规模的同时进行所需的彩色图像显示。ŽSOLUTION：当参考电压发生部分30中产生的参考电压V₀被提供给积分调节部分40时，由积分调节部分40从参考电压V₀产生参考电流。参考电流经过积分通过用户设置亮度调节信号S₁进行亮度调节，以产生积分亮度调节电流I。此后，在R，G，B的每个调节部分分别为50R，50G，50B，每个调节部分分别进行微调。用户通过S_{2R}，S_{2G}和S_{2B}的颜色调节信号的每个R，G和B在调节部分中设定相应的R，G和B，从而产生离散的调节电流I_R，I_G和I_B并使得BL元件13R，13G和13B用于每个R，G和B以期望的色调发光。Ž



実施例 1 の色合い調整回路